

記者発表資料

四国横断自動車道（須崎新荘～中土佐間）起工式の開催について

高知県で初めてとなる直轄高速方式により事業を進めている四国横断自動車道（須崎新荘～中土佐間）の起工式を、下記要領で行います。

○日 時：平成16年12月4日（土）14時

○場 所：高岡郡中土佐町久礼字坪の内
（中土佐インターチェンジ建設予定地）

○参加者：地元選出国會議員をはじめとする地元・工事関係者

なお、式典の後、14時50分からの予定で一般の方々を対象としたもちなげを行います。

平成16年11月22日

国土交通省 四国地方整備局
日本道路公団 四国支社

問い合わせ先

国土交通省 土佐国道事務所

TEL(088)884-0359

副所長	中山 義男	内線(204)
総務課長	山下 安一	内線(211)

四国横断自動車道（須崎新荘～中土佐）起工式 概要

目的：高知県内で初めてとなる直轄高速方式により事業を進めている須崎新荘～中土佐間の初の工事（四国横断自動車道安和工事）着手に際し、地元・関係機関のご協力に感謝すると共に、早期整備の強い要望に対し、今後の事業の円滑な進捗を祈念し起工式を行う。

主催：国土交通省四国地方整備局、日本道路公団四国支社

日時：平成16年12月4日（土） 14時00分～15時00分
（受付開始 13時30分）

場所：高知県高岡郡中土佐町久礼字坪ノ内 別紙地図参照
（中土佐インターチェンジ建設予定地）

スケジュール：

1. 起工式 14:00 ～ 14:40 （予定）

式次第

1. 開式の辞
2. 式辞
3. 来賓祝辞
4. 来賓紹介
5. 工事概要説明
6. 祝電披露
7. 初楾
8. 万歳三唱
9. 閉式の辞

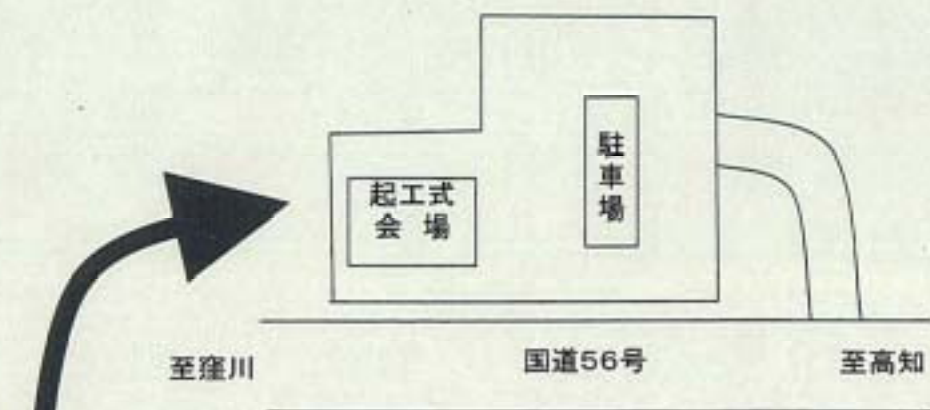
2. 記念行事 14:50 ～ （起工式終了次第）

もちなげ

出席予定者： 地元選出国會議員、県知事、県議會議員、関係市町村長等

約100名

四国横断自動車道(須崎新荘～中土佐)起工式 会場案内図



四国横断自動車道（須崎新莊～中土佐） 事業概要

○整備の目的

四国横断自動車道は、阿南市を起点として、高松市、高知市を經由し、大洲市に至る延長約44.1kmの路線です。四国四県の広域的なネットワークはもとより本州四国連絡橋と相まって本州との結びつきを深め、四国における産業、経済、文化の発展に重要な役割を果たすとともに、高規格幹線道路ネットワークの機能強化、及び今後想定される「東海・南海地震」などによる災害時の代替路としての役割を担う路線です。

今回の須崎新莊～中土佐間は、平成15年12月の国土開発幹線自動車道建設会議において決定された直轄高速方式により整備される区間で、一般国道56号の自動車専用道路である須崎道路を介し、平成14年9月より供用されている伊野～須崎間と接続する区間であり、高知県西南地域の発展に重要な役割を果たすものと期待されています。

○諸 元

路線名： 高速自動車国道 四国横断自動車道
区 間： 自) 高知県須崎市下分
至) 高知県高岡郡中土佐町久礼
延 長： 7.0 km
構造規格： 第一種3級
設計速度： 80 Km/h
標準幅員： 20.5 m (4車線) 10.5 m (暫定2車線)

○事業費 約1,040億円（須崎新莊～窪川間、暫定事業費）

○経 緯

・基本計画	平成 3年12月20日	(須崎市～窪川町)
・都市計画決定	平成 8年 3月29日	(須崎市～窪川町)
・整備計画	平成 8年12月27日	(須崎市～窪川町)
・施行命令	平成 9年12月25日	
・実施計画認可	平成10年 1月16日	
・現地立入説明	平成10年 6月26日～	
・用地幅杭打設	平成13年11月 5日～	
・用地買収	平成13年12月28日～	
・直轄高速方式の指定	平成15年12月25日	
・工事	平成16年 3月24日～	

○四国横断自動車道^{あわ}安和工事の概要

- ・平成16年3月23日契約（工期：平成17年8月15日）
- ・施工業者：四国開発㈱
- ・工事内容：道路掘削 63千m³、安和川橋（橋台 2基）、C-BOX 3基

○整備目標

平成20年代前半の供用を目標に事業を推進します。

四国横断自動車道(直轄高速区間) L=21.8km

高知工事事務所担当区間 L=21.8km

窪川IC~中土佐IC L=14.8km

中土佐IC~須崎新庄IC L=7.0km

国土交通省区間 L=4.6km

一般国道56号 須崎道路
(自動車専用道路)

14 須崎東



四国横断自動車道(須崎市～窪川町)

四国横断自動車道



至 中村

H16 4現在

区 間		中土佐IC～窪川IC	須崎新荘IC～中土佐IC
区間延長		14.8km	7.0km
所在地		中土佐町～窪川町	須崎市～中土佐町
供用目標年度		H20年代半ば	H20年代前半
測量着手(目標)年度 [着手率(延長比)]		H11 [全線]	H10 [全線]
設計協議着手(目標)年度 [着手率(延長比)]		H14 [全線]	H12 [全線]
用地買収着手(目標)年度 [進捗率(面積比)]		(H16) 0%	H13 73%
工事着手(目標)年度		(H17)	H15
H16事業内容	測量・設計	測量・設計推進	設計推進
	用地	用地測量推進 一部(川崎・小向地区)用地買収着手	全地区用地買収推進
	工事		須崎市安和地区、中土佐IC部 改良工事着手

直轄高速方式区間（須崎新荘～窪川）の整備効果

直轄高速方式により事業を進めている四国横断自動車道（須崎新荘～窪川間）の整備によって、次のような効果が考えられます。

時間短縮

整備後は、33分が19分と**14分短縮**されます。



安全・確実な代替道路の確保

南海地震による津波により、国道56号の沿岸部では冠水被害が予想されます。

人命救助・救援物資輸送のため安全・確実な代替道路が確保されます。



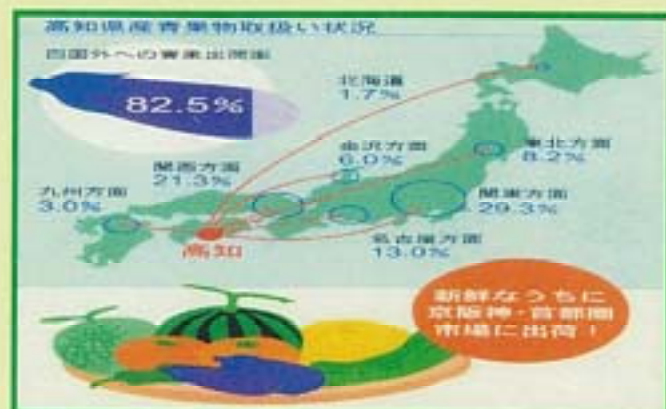
緊急搬送時のスピーディーな移送

3次救急医療機関である高知市内の病院へのアクセス性が向上し、60分到達圏域が窪川町まで拡大します。



速達性、安定性の向上による物流の効率化

鮮度が命の農産物や海産物を市場に早く、安定した輸送が可能となり、地場産業の活性化が期待されます。



西南地域へのアクセス向上による観光客の増加

アクセス性に劣ることから、西南地域の観光客は依然として少ない状況です。

高速道路の整備により、所用時間が大幅に短縮され、観光客の増加が期待されます。



